

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-123	小学校	道徳	道徳	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳505	道徳 5 きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修の基本方針

主体的・対話的な学びから、 児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育みます

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、これからの学校には、一人一人の児童が、

- 自分のよさや可能性を認める
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようにすることが、求められています。私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。

1 成長に寄り添う教科書

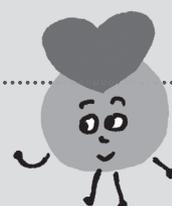
児童の1年間の成長と、学校生活の流れに沿った年間構成としました。年間を3つのまとまりに分け、まとまりごとに、児童が自身の成長を実感でき、自己肯定感を高めることができるよう工夫しました。

2 学びを支える教科書

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが、児童に見える教材構成としました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるようにしました。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題と道徳の学びを結び付けることで、児童が課題と向き合い、自分のこととして考えたり、多面的・多角的に自分の生き方について考えを深めたりできるようにしました。

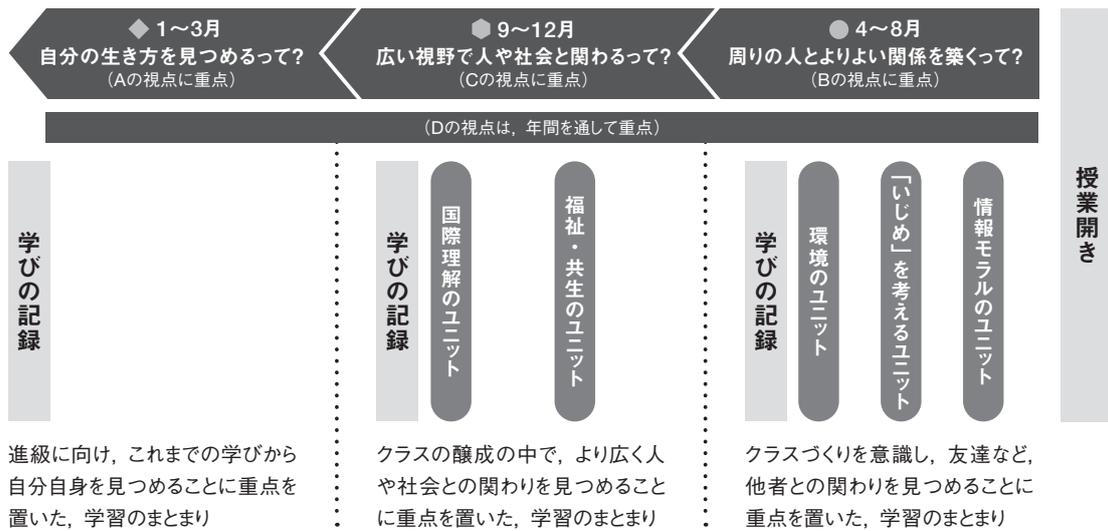


1

成長に寄り添う教科書

年間構成の工夫

- 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間を3つのまとまりに分けました。
- まとまりごとに、それぞれBの視点、Cの視点、Aの視点に重点を置く構成としました。Dの視点については、年間を通して重点と捉え、随所に教材を配しました。
- まとまりごとに扉を設けることでめりはりをつけ、児童が新鮮な気持ちで道徳の学習に臨めるよう配慮しました。



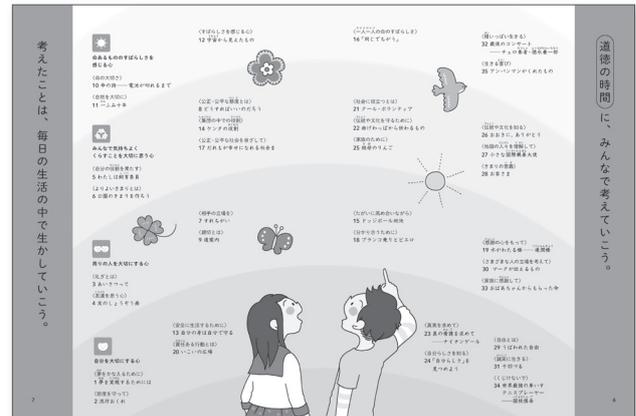
道徳の授業開き

学年の冒頭に、授業開き（上図参照）として「道徳の時間」を設けました。

- 初めの見開き (p.4-5) では、道徳の授業は、教材をきっかけに、読んだり、演じたり、書いたりする活動に取り組みながら、児童が主体的に考え、話し合う時間であることを示しています。
- 次の見開き (p.6-7) では、道徳の学びが、自分から他者へ、さらには社会、そして生命や自然へと、全てを取り巻く広がりをもっていることを視覚的にイメージできるようにしました。これからの学習に対する見通しがもてるように配慮しています。



p.4-5



p.6-7

2 学びを支える教科書

教材構成の工夫

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが児童に見える教材構成としました。また、てびき「考えよう・話し合おう」では、児童が主体的・対話的な学びを深められるような3つの問いを用意しました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるよう、「つなげよう」を設けました。

他教科の学びや
日々の生活へ

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

導入

p.116-119 ②「いこいの広場」



ぼくが、中学生たちの会話を思い出した。もし、ぼくがあの中学生たちだったら、どうしただろう。キャッチボールを注意したおじさんに、何と言っただろう。

編者委員 作中 北沢 優子 絵

ぼくの家付近には、小さな広場がある。ベンチが置いてあるこの広場を、近所の人たちは、「いこいの広場」とよんでいる。

ある日、小さな弟が連れてこられた、「いこいの広場」に遊びに行った。広場では、めがねをかけたおじさんが一人、ベンチで本を読んでいた。ぼくたちは広場のほうの方で、持ってきた弟のおもちゃで遊ぶことにした。しばらくすると、二人の中学生がやって来て、キャッチボールを始めた。この広場は、ボール遊びができるほど広くはない。なんとなく気がなっていたとき、

「君たち、野球はもっと広い所で行ってほしいかな。」

20 いこいの広場

責任ある行動とは

広場って、どんな場所かな。どんな人が、何のために来る所だろう。

考えよう・話し合おう

責任ある行動とは、どんなものだろう。

●二人の中学生がキャッチボールをしようとしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気がなっていたのは、なぜでしょう。

◎「それには、みんなの広場だろう。」という中学生の言葉を聞いたとき、「ぼく」は、どう思ったでしょう。

●あなたは、二人の中学生に足りなかったのは、どのような考えだと思いますか。

考えよう・話し合おう

責任ある行動とは、どんなものだろう。

●二人の中学生がキャッチボールをしようとしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気がなっていたのは、なぜでしょう。

◎「それには、みんなの広場だろう。」という中学生の言葉を聞いたとき、「ぼく」は、どう思ったでしょう。

●あなたは、二人の中学生に足りなかったのは、どのような考えだと思いますか。

考えよう・話し合おう

責任ある行動とは、どんなものだろう。

●二人の中学生がキャッチボールをしようとしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気がなっていたのは、なぜでしょう。

◎「それには、みんなの広場だろう。」という中学生の言葉を聞いたとき、「ぼく」は、どう思ったでしょう。

●あなたは、二人の中学生に足りなかったのは、どのような考えだと思いますか。

つなげよう

自分て考えて行動することは、簡単ではないかもしれないね。そんなとき、今日の学習を思い出そう。

つなげよう

他教科の学びや日々の生活へ

キャラクターの呼びかけによって、1時間の道徳の時間の学びが、次の行動につながるようにしました。他教科の学習内容との関連付け、特別活動との関連付け、関連する内容をもつ図書の紹介、日常生活への意識づけなどを通して、計画的、発展的な学習ができるように配慮しました。

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

児童が、教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識することができるよう、学びのめあてを太字で示しました。また、めあてに沿って、次のように発問を構成しました。

- ①教材の内容について、児童が同じ共通理解に立つための問い
- ②道徳的価値に迫るための中心的な問い
- ③道徳的価値を自分や日々の生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする問い

特に考えてほしい中心となる問いには、◎(二重丸)を付しました。

導入

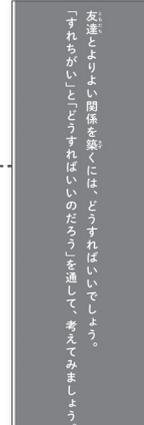
キャラクターが問いかけることで、児童が無理なく学習に入ることができるよう工夫しました。児童と、教材を通して考える道徳的価値とを結び付ける役割を果たします。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題を取り上げた「ユニット」の工夫

教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を、年間に5種類設けました(P.2上図参照)。コラムには、現代的な課題とともに持続可能な発展について考えられる話題を取り上げ、「ユニット」を通して、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるよう配慮しました。

[例 「いじめ」を考えるユニット]

コラム	教材②	教材①	よびかけ
 <p>p.46-47 「おたがいを大切にしよう」</p>	 <p>p.43-45 ⑧「どうすればいいのだろう」</p>	 <p>p.37-42 ⑦「すれちがい」</p>	 <p>友達とよりよい関係を築くには、どうすればいいでしょう。「すれちがい」と「どうすればいいのだろう」を通して、考えてみましょう。</p>

全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

・B5判を左右に10ミリ広げ、綴じ方を工夫することで、文字や挿絵を大きく示しました。持ち運びやすいサイズで、児童の負担を最小限におさえます。

[文字について]

- ・文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
- ・文字の書体は、本文は原則として書き文字に近い教科書体活字を用いました。

[表記について]

- ・第2～6学年について、当該学年の配当漢字には全て振り仮名を付しました。
- ・読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため、当該学年より上の学年の配当漢字が掲出される場合には、その全ての漢字に、振り仮名を付しました。

[文章の区切り]

- ・文章は、必ず文節で改行するようにし、児童の読みのつまずきを軽減しました。
- ・てびきの問いは、意味のまとまりで改行するようにし、児童が問われていることの意味をつかみやすいようにしました。

2. 対照表

[第5学年]

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
	道徳の時間	真理を求める態度を養い、互いの価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、道徳の時間に行うさまざまな活動や学びを紹介する中で、疑問を追求していく態度や、他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの重要性を感じることができるようなページを設けた。	第一号、第二号	4-7
教材	25 祖母のりんご	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	138-141
	33 おばあちゃんからもらった命			181-185
	35 アンパンマンがくれたもの			191-195
	1 夢を実現するためには	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	10-13
	23 真の看護を求めて ——ナイチンゲール			129-133
	24 「自分らしさ」を見つめよう			134-137
	34 世界最強の車いす テニスプレーヤー——国枝慎吾			186-190
	2 流行おくれ			他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。
	14 ケンタの役割	82-84		
	20 いこいの広場	116-119		
	29 うばわれた自由	160-165		
	31 千羽づる	170-175		
	5 わたしは飼育委員	自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	29-32
	6 公園のきまりを作ろう			33-35
	9 道案内			48-51
	19 水がわたる橋——通潤橋			110-115
	21 クール・ボランティア			120-123
	3 あいさつって	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	18-21
	4 友のしょうぞう画			24-28
	7 すれちがい			37-41
	8 どうすればいいのだろう			43-45
	15 ドッジボール対決			85-88
	17 だれもが幸せになれる社会を			94-99
	18 プランコ乗りとピエロ			102-107
	28 お客さま			156-159
	30 マークが伝えるもの			166-169
	10 命の詩——電池が切れるまで			自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。
	11 一ふみ十年	56-62		
	12 宇宙から見えたもの	63-71		
	13 自分の身は自分で守る	78-81		
	16 「同じでちがう」	90-93		
	32 最後のコンサート ——チェロ奏者・徳永兼一郎	176-180		
	22 曲げわっぱから伝わるもの	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	124-128
26 おおきに、ありがとう	142-145			
27 小さな国際親善大使	146-149			
特設ページ	〈心を通わそう〉温かい言葉 いっぱいいるクラスにしよう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号、第二号	36
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	108-109
	学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	74-76、 152-154、 196-198
	〈付録〉あなたへのメッセージ	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号、第二号	199
	〈付録〉 ありのままの自分を受け入れよう!	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	200-201
	〈付録〉日本に伝わる「伝統工芸」	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	202-203

編修趣意書

学習指導要領との対照表， 配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-123	小学校	道徳	道徳	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳505	道徳 5 きみがいちばんひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 考えたくなる，語りたくなる授業を実現するために

新学習指導要領では，よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し，社会と連携・協働しながら，未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が掲げられています。

社会と連携・協働しながら，未来の創り手となる児童が育てられるよう，私たちは，道徳の授業を通じて生きて働く道徳性の育成ができる教科書を目指しました。

心を捉える多様な教材群

児童が，道徳的な問題について「考えたくなる」，友達と「語り合いたくなる」，自ら「行動したくなる」多様な教材を開発しました。高学年の児童は，自分を高めたいと思う一方で，自分に自信がもてないなど，夢と現実の違いを意識するようになってきます。そのような時期だからこそ，人が悩む姿や，失敗や葛藤を乗り越える姿など，子どもの心を捉える教材を作成しました。また，これまで気づかなかった新しい見方を示唆する教材，視角的に子どもの興味を引く教材など多様な教材を取り上げました。



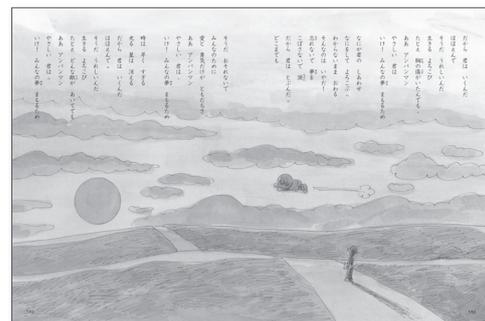
p.63-71 ⑫「宇宙から見たもの」



p.82-84 ⑭「ケンタの役割」



p.186-190 ⑳「世界最強の車いすテニスプレーヤー
——国枝慎吾」



p.191-195 ㉑「アンパンマンがくれたもの」

問題解決的な学習——道徳的な価値に基づき、問題を解決していく力を

児童が、道徳的な判断を問われる場面に出会ったとき、その問題を自分との関わりで見つめ、道徳的な価値に根差した判断をし、解決していく力を培えるよう、教材を構成しました。てびき「考えよう・話し合おう」で問題解決的な考えを促す問いを配したり、葛藤場面や判断を求められる場面を取り立てて示した教材を用意したりしています。



p.43-45 ⑧「どうすればいいのだろう」



p.33-35 ⑥「公園のきまりを作ろう」

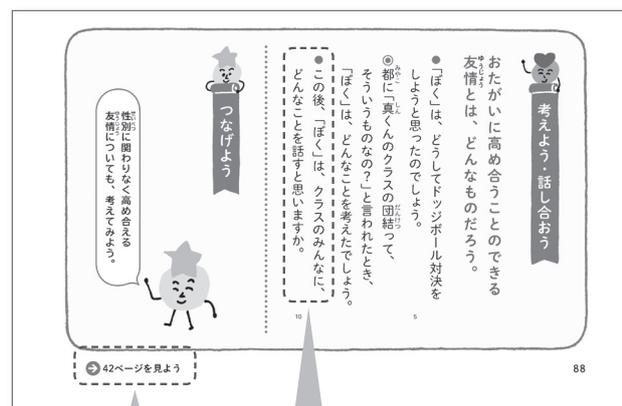
体験的な学習——「演じて考えよう」(役割演技)

児童が、実感をもって道徳的価値について考えが深められるよう、「演じて考えよう」を設けるとともに、「あなたが『わたし』だったら、どうしますか。」「どんな話をするとおもいますか。」などの問いを用意しました。

役割演技は、演技することが目的ではなく、その後の話し合いが大切であることがわかるよう、丁寧に示しました。



p.42「演じて考えよう」



p.85-88

⑮「ドッジボール対決」

演じて話し合うことが有効と考えられる教材には、「演じて考えよう」のページを参照できるようにしています。

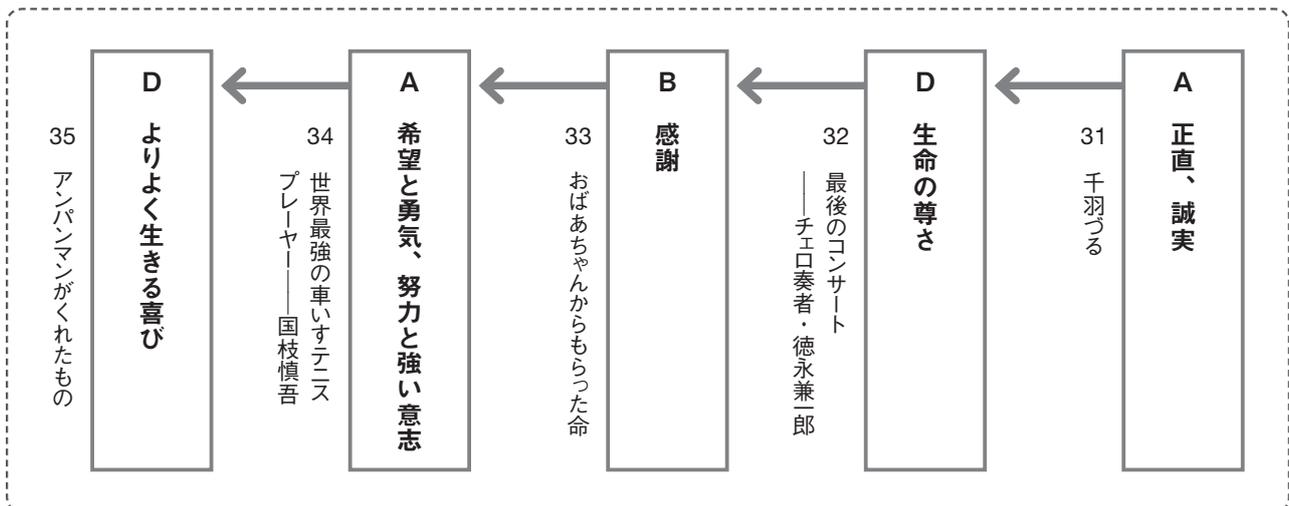
2 確かな道徳性を育むために

道徳科では、道徳教育の要としての役割を果たし、確かな道徳性を育むことが求められています。効果的な指導と、指導と一体になった評価を行っていくために、教科書で何ができるのかを追求しました。

道徳性の育成に配慮した教材配列

1時間1時間の学びが、児童の考えの深まりをより促せるよう、内容項目の関連に配慮した順序を意識して、教材を配列しました。

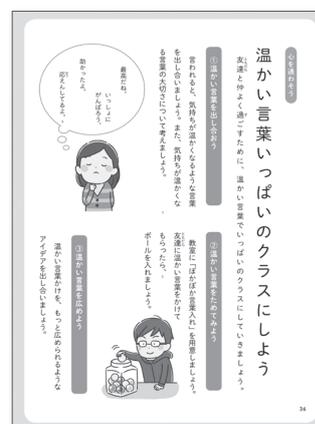
例えば、5年の第31教材から第35教材は、下のようになっています。ここでは、Aに重点をかけた「自分の生き方を見つめるって?」というまとまりの中で、特に「6年生への進級に向け、自分の生き方について考えること」を意図しています。明るい心で生活することの大切さや、命の大切さを実感しながら、家族や身の回りの人々に感謝すること、目標に向かって強い意志で努力を重ねることについて考え、人としてよりよく生きていくとは、どのようなことなのかについて考えを深めていくという学びの流れを構築しました。



クラスづくりに——「心を通わそう」

新学年になって2か月を過ごし、児童がようやく新しい学年やクラスに慣れてきた5月の終わりに、「心を通わそう」を配しました。(1年は6月の終わり、2～6年は5月の終わり。)

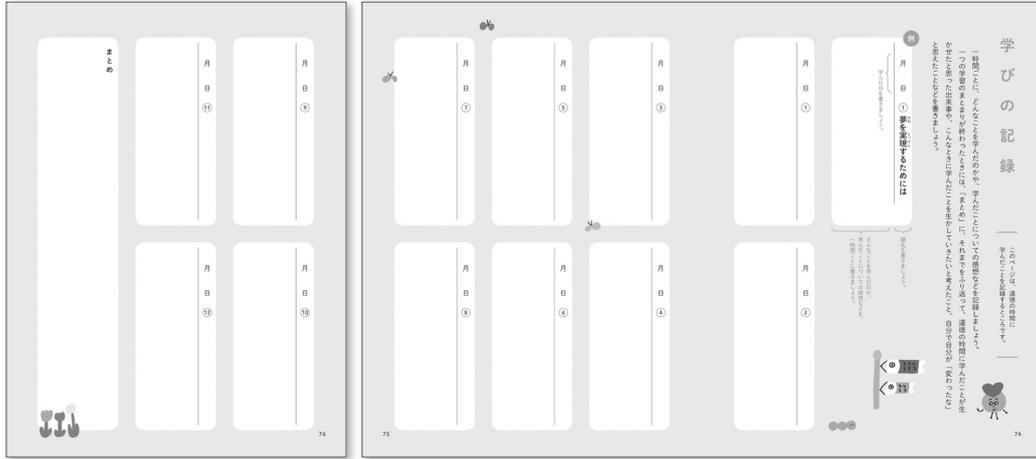
お互いを認め合えるクラスの醸成は、道徳の授業のみならず、児童が学校生活を送るうえで重要な要素です。この時期に、クラスの中でよりよい関係性を築けるような活動に取り組むことで、信頼して話し合える道徳の授業づくりを促します。



p.36心を通わそう「温かい言葉いっぱい話そうよ」

児童の振り返りの場——「学びの記録」

「学習のまとめり」の区切り目の3か所に、「学びの記録」を設けました。児童が、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「学習のまとめり」の区切りごとに、そこまでの自分の学びの変化や成長をいつでも振り返ることができるように構成しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取ることも可能です。



p.74-76 「学びの記録」

考えることを楽しむ——「なんだろう なんだろう」

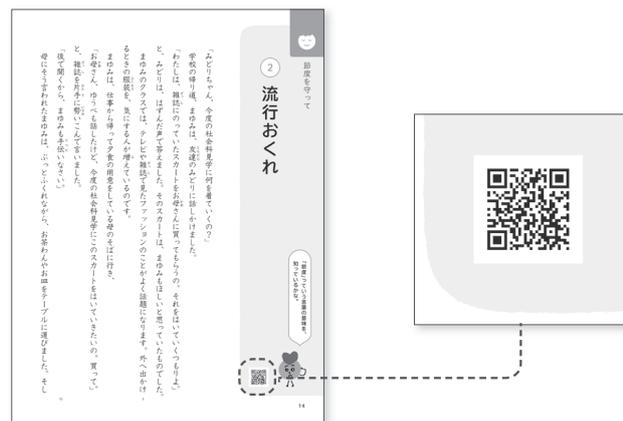
全学年に、1年『「がっこう」って、なんだろう』、2年「じぶんらしい『たのしい』って、なんだろう」、3年『うそ』ってなんだろう」、4年『「友だち」ってなんだろう』、5年「生きる『しあわせ』ってなんだろう」、6年『「自分」ってなんだろう』というテーマを設け、それぞれのテーマについて、多面的・多角的に考えられるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として、授業時間以外でも「考えること」を楽しむことができます。



p.108-109 「なんだろう なんだろう」

効果的に活用できるデジタルコンテンツ

児童を引き込む、人気声優による朗読や、授業の導入や展開で活用できるオリジナル写真・動画、教材に関連する情報や写真・動画を見ることができるウェブサイトの紹介など、授業に役立つデジタルコンテンツを用意しました。



p.14-17 ②「流行おくれ」

2. 対照表

[第 5 学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当 時数	配当 学期	
	視点*1							内容項目
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
道徳の時間					4-7			
周りの人 とよりよい 関係を築く って？	1 夢を実現するためには	○			希望と勇気, 努力と強い意志	10-13	1	
	2 流行おくれ *2	○			節度, 節制	14-17	1	
	3 あいさつって 〈コラム〉インターネット上のマナー		○		礼儀	18-21	1	
	4 友のしょうぞう画		○		友情, 信頼	24-28	1	
	5 わたしは飼育委員			○	よりよい学校生活, 集団生活の充実	29-32	1	
	6 公園のきまりを作ろう 〈心を通わそう〉温かい言葉いっぱい のクラスにしよう			○	規則の尊重	33-35	1	
	7 すれちがい		○		親切, 思いやり/相互理解, 寛容	36		
	8 どうすればいいのだろう 〈コラム〉おたがいを大切にしよう			○	相互理解, 寛容	37-42	1	
	9 道案内		○		公正, 公平, 社会正義	43-45	1	
	10 命の詩——電池が切れるまで			○	相互理解, 寛容	46-47		
	11 一ふみ十年			○	親切, 思いやり	48-51	1	
	12 宇宙から見えたもの 〈コラム〉「地球の温暖化」を知ろう			○	生命の尊さ	52-55	1	
			○	自然愛護	56-62	1		
			○	感動, 畏敬の念	63-71	1		
			○	自然愛護	72-73			
広い視野 で人や社会 と関わる って？	13 自分の身は自分で守る	○			節度, 節制	78-81	1	
	14 ケンタの役割			○	よりよい学校生活, 集団生活の充実	82-84	1	
	15 ドッジボール対決		○		友情, 信頼	85-88	1	
	16 「同じでちがう」			○	生命の尊さ	90-93	1	
	17 だれもが幸せになれる社会を 〈コラム〉子どもの権利条約			○	公正, 公平, 社会正義	94-99	1	
	18 ブランコ乗りとピエロ なんだろう なんだろう		○		公正, 公平, 社会正義	100-101		
	19 水がわたる橋——通潤橋		○		相互理解, 寛容	102-107	1	
	20 いこいの広場	○			よりよく生きる喜び	108-109		
	21 クール・ボランティア			○	感謝	110-115	1	
	22 曲げわっぱから伝わるもの			○	善悪の判断, 自律, 自由と責任	116-119	1	
	23 真の看護を求めて——ナイチンゲール	○			勤労, 公共の精神	120-123	1	
	24 「自分らしさ」を見つめよう	○			伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	124-128	1	
25 祖母のりんご			○	真理の探究	129-133	1		
26 おおきに, ありがとう			○	個性の伸長	134-137	1		
27 小さな国際親善大使 〈コラム〉オランダから和紙を求めて			○	家族愛, 家庭生活の充実	138-141	1		
			○	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	142-145	1		
			○	国際理解, 国際親善	146-149	1		
			○	国際理解, 国際親善	150-151			
自分の生き 方を見つ めるって？	28 お客さま			○	規則の尊重	156-159	1	
	29 うばわれた自由	○			善悪の判断, 自律, 自由と責任	160-165	1	
	30 マークが伝えるもの		○		親切, 思いやり	166-169	1	
	31 千羽づる	○			正直, 誠実	170-175	1	
	32 最後のコンサート——チェロ奏者・徳永兼一郎			○	生命の尊さ	176-180	1	
	33 おばあちゃんからもらった命		○		感謝	181-185	1	
	34 世界最強の車いすテニスプレーヤー——国枝慎吾	○			希望と勇気, 努力と強い意志	186-190	1	
35 アンパンマンがくれたもの			○	よりよく生きる喜び	191-195	1		
〈付録〉あなたへのメッセージ	○	○		希望と勇気, 努力と強い意志/相互理解, 寛容	199			
〈付録〉ありのままの自分を受け入れよう!	○			個性の伸長	200-201			
〈付録〉日本に伝わる「伝統工芸」			○	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	202-203			
合計時数							35	

*1 視点の内容 A: 主として自分自身に関する事 B: 主として人との関わりに関する事 C: 主として集団や社会との関わりに関する事
D: 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事

*2 はユニット構成となっていることを示す。